

CSIネットワークマスター 虎の穴

特定非営利活動法人(NPO)

中国・四国インターネット協議会(CSI)

<http://www.csi.ad.jp/>

seminar-sec@csi.ad.jp

2005 Copyright(C) Chugoku-
Shikoku Internet Council

1

特定非営利活動法人(NPO) 中国・四国インターネット協議会(CSI)

- ◆ インターネットの技術および利用に関する啓発・普及、インターネット接続技術および利用技術に関する研究・開発およびその支援や学校教育へのインターネット利用の支援など、当地域におけるネットワークコミュニティの健全な発展への努力を通じて地域社会へ貢献しています。

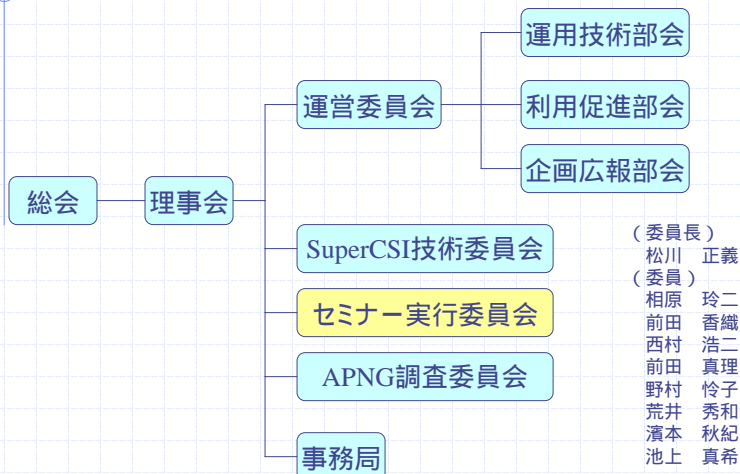
2

CSIの主な歩み

- ◆ 1993年3月 任意団体として設立
 - 技術研究・開発および支援だけでなく、ボランティアの手により、主として大学や研究機関を対象として、学術・研究・教育及びその支援を目的としたコンピュータネットワーク利用のためのネットワーク接続を提供
- ◆ 1999年9月 ネットワーク運営組織として日本初のNPO法人化
- ◆ 2000年4月 ネットワーク接続をNPO法人事業の一つとして正式にスタート
- ◆ 2004年4月 ネットワーク接続事業を外部委託(NTT西日本グループ)し、研究・開発および支援に注力

3

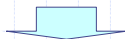
CSIの組織



4

CSIネットワークマスター虎の穴とは？

- ◆ ネットワーク技術の急速な進歩により、常に最新技術動向をキャッチアップする必要あり
- ◆ 若手技術者の育成が急務



- ◆ 技術セミナーは東京ばかりで開催.....
- ◆ セミナー受講料は高い(大都会価格?).....
- ◆ 出張旅費がかさむばかり.....
- ◆ でもネットワーク技術のキャッチアップは絶対に必要.....



ならばCSIが技術者向けのセミナーを開催いたします！

5

CSIネットワークマスター虎の穴 扉を叩く方に求めるもの

- ◆ ネットワーク技術の基礎を十分に理解している
- ◆ 東京等の都会で開催されている技術セミナーに参加したことがある(またはとても興味がある)
- ◆ ネットワーク関連の研究、業務等に従事している
- ◆ ネットワークに関し、何か問題を抱えている(問題意識がある)
- ◆ 常に最新技術動向をキャッチアップしたいと思っている
- ◆ 何より、向上心がある！

6

CSIネットワークマスター虎の穴

第8回 セミナー参加対象者・必要知識

◆ 対象者

・基礎的なネットワーク専門知識を有している方(webの仕組みなど)

◆ 必要知識(用語集)

XML

構造化された文章、比較的自由に構造を設計できることが特徴。

参考URL: <http://e-words.jp/w/XML.html>

SOAP

HTTPとXMLをベースにした通信プロトコル、初代ウェブサービスによく採用されている。

参考URL: <http://e-words.jp/w/SOAP.html>

REST

簡易なXML+HTTPインターフェイス、次世代ウェブサービスによく採用されている。

参考URL: <http://ja.wikipedia.org/wiki/REST>

プロトコール

TCP, UDP, HTTPなどを含む通信規約。

参考URL:<http://e-words.jp/w/E38397E383ADE38388E382B3E383AB.html>

ウェブサービス

インターネットの関連技術を利用してHTTPプロトコルにて通信可能なサービスまたはソフトウェア。

参考リンク: <http://ja.wikipedia.org/wiki/Web%E3%82%B5%E3%83%BC%E3%83%93%E3%82%B9>

80/20の法則 (またはThe Pareto Principle)

イタリア経済学者、Vilfredo Paretoにより提唱されて法則。ある現象にて結果の8割が2割の要因から発生することを主張する。

参考URL:<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%91%E3%83%AC%E3%83%BC%E3%83%88%E3%81%AE%E6%B3%95%E5%89%87>

7

CSIネットワークマスター虎の穴

第8回 セミナー参加対象者・必要知識

◆ 必要知識(用語集) 続き

ロングテール

クリス・アンダーソン (Chris Anderson) によって提唱された市場現象。80/20の法則を市場にも適用すると主張。

参考リンク:

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AD%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%83%86%E3%83%BC%E3%83%AB>

マッシュアップ

複数ウェブサービスまたは情報源を組み合わせたアプリケーション。

参考URL:

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%9E%E3%83%83%E3%82%B7%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%93%E3%83%97>

オブジェクト指向

「もの」を前提に考えるアプリケーション設計または表現方法。

参考URL: <http://e-words.jp/w/E382AAE38396E382B8E382A7E382AFE38388E68C87E59091.html>

アジャイル開発

プロジェクト工程や作業内容が変わることを前提に考える、プロジェクト管理及び開発手法論。

参考URL: <http://www.controlchaos.com/>

スケーリング

負荷に応じるためサーバーの数またはITリソースを増加、または最適化すること。

参考URL: <http://e-words.jp/w/E382B9E382B1E383BCE383A9E38393E383AAE38386E382A3.html>

ウェブスケール

インターネットの不定期なトラフィックやスパイクなどに耐えられるスケーリング。

8

CSIネットワークマスター虎の穴

第8回 セミナー参加対象者・必要知識

◆ 必要知識(用語集) 続き

ライブラリ

システムやソフトウェアなどを再利用するときに使う、機能や関数を提供するソースコードまたはバイナリーコード。
参考URL: <http://e-words.jp/w/E383A9E382A4E38396E383A9E383AA.html>

API

ソフトウェアを開発するときに使うシステムまたはサービスの命令や関数の集合。
参考URL: <http://e-words.jp/w/API.html>

Perl

Larry Wall氏の発明であるテキスト処理や正規表現に優れたスクリプト言語。
参考URL: <http://www.perl.org/>

JavaScript

ウェブブラウザ環境内で主に実装されている手軽なスクリプト言語
参考URL: <http://e-words.jp/w/JavaScript.html>

AJAX

JavaScriptとブラウザとウェブサーバーを利用したXML-RPCの種類の。
参考URL: <http://e-words.jp/w/Ajax.html>

9

CSIネットワークマスター虎の穴

これまでの実績

- ◆ 第1回技術セミナー 2005年7月21日(木)
- ◆ 第2回技術セミナー 2005年9月15日(木)
- ◆ 一般向けイベント 2005年11月12日(土)
- ◆ 第3回技術セミナー 2006年2月2日(木) 高知開催
- ◆ 第4回技術セミナー 2006年2月10日(金)
- ◆ 第5回技術セミナー 2006年4月13日(木)
- ◆ 第6回技術セミナー 2006年7月20日(木)
- ◆ 市民公開講座(第1回) 2006年9月16日(土)
- ◆ 第7回技術セミナー 2006年12月14日(木)
- ◆ 市民公開講座(第2回) 2007年1月17日(水)

- 皆様のご意見を反映し今後のセミナー内容を決定します
- ぜひアンケートにご協力下さい!

10

CSIネットワークマスター虎の穴

第8回

「Double Rainbow ~インターネットとWeb2.0~」

講師:法林 浩之氏 (日本UNIXユーザ会)

1966年生まれ、神戸市出身。
大阪大学にて情報工学を専攻、在学中にUNIXとインターネットに出会う、大阪大学大学院修士課程修了後、1992年にソニーに入社、主に社内ネットワーク管理を担当し、ソニー全社にWebを普及させた。2002年からはインターネット総合研究所に所属し、インターネット関連技術全般のコンサルティング、システム構築、運用などの業務に従事、2006年末に退職し、今後の進路を模索中。
日本UNIXユーザ会には1989年から参加し、1992年から幹事として活動、以来、今日に至るまで、UNIX、インターネットオープンソース関連のユーザグループ活動に携わる。「Internet Week」「オープンソースまつり」「Lightweight Languageイベント」など歴史に残るイベントを数多く手がけ、ユーザ同士の交流の場を作ってきた。2003年からの2年間はjusの会長も務めた。現在もjusにおいてもっとも活発な活動を続ける幹事のひとりである。

「Web2.0: :これからのIT事業の姿」

講師:エマーソン ミルズ氏 (アマゾン ジャパン株式会社)

米国ミシガン大学言語学部卒、同大学在学中に、東京大学に1年間留学した経験を持つ。卒業後、日本で通信事業会社に入社し、CRMシステムなどの開発を担当。2003年にAmazon.comに入社後は、委託開発部の立ち上げメンバーとして、store.nba.com、bombaycompany.comなどの展開に従事した。2005年にAmazon.co.jpに転籍し、Amazonモバイルの新機能開発を担う。メール検索、マイストア、モバイル版カスタマーレビューなどを打ち上げ、2006年から現職に。